

第1回生駒市総合計画審議会（全体会）会議録

開催日時 令和5年3月30日（木）13時30分～14時30分

開催場所 生駒市役所4階 大会議室

出席者

（委員）大谷委員、清水委員、田中委員、久委員、伊藤委員、楠委員、鐵東委員、
中垣委員、藤尾委員、松山委員、上山委員、山上委員

（事務局）増田市長公室長、川島市長公室次長、牧井企画政策課主幹、
片山企画政策課企画係長、桐谷企画政策課員

欠席者 高取委員、森委員、和田委員

議事内容

1 開会

2 案件

（1）第2期基本計画の策定について

（2）第6次総合計画第1期基本計画の進行管理方法について

3 閉会

以下、発言要旨

1. 開会

【事務局】 本審議会に対して諮問を行うにあたり、諮問書の内容を代読する。第6次総合計画第1期基本計画の進行管理及び第2期基本計画の策定について諮問させていただく。

（市長公室長諮問書を代読）

2 案件

（1）第2期基本計画の策定について

【久会長】 それでは、案件の1番目「第2期基本計画の策定」について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】 （資料1-1及び1-2について説明）

【久会長】 第1期基本計画の評価や社会的な変化を踏まえて第2期基本計画の策定を進めていく。策定に向けては、具体的な事業内容の議論に終始するのではなく、施策の方向性や目指すまちの姿の検討など、まちとして目指す大きな方向性について議論していきたい。また、目指すまちの姿の設定に際しては、抽象的な内容ではなく、進捗を評価できる具体的な内容に設定することで、しっかりと進行管理ができるので、そのあたりをチェックしていきたい。

【松山委員】 現計画について「詳細に記載しているがゆえに、社会経済状況の変化を反映しきれていない」と資料に記載されているがどういう意味か。

【久会長】 基本計画に具体的かつ詳細に記載すると、社会状況の急激な変化に対して、計画で定めている事項だけでは対応できないことが想定され、様々な事業を実施する際に、計画と齟齬が発生してしまう。

【事務局】 それぞれの年度で柔軟に対応できるような計画にしたいと考えている。

(2) 第6次総合計画第1期基本計画の進行管理について

【久会長】 「総合計画の進行管理」について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】 (資料2-1、資料2-2について説明)

【久会長】 進行管理では、掲げている「5年後のまち」実現に向けて、どの程度近づいているかという観点で担当課は自己評価している。審議会においても、同様に「5年後のまち」を意識して審議いただきたい。また、「5年後のまち実現に向けた成果」については、取り組んだ結果ではなく、あくまで得られた成果を記入する箇所であるので、委員の皆様も内容を確認する際は意識していただきたい。

【清水委員】 検証シートでは、取り組んだ内容だけでなく、各課で直面している困難な内容なども把握できると、どのように解決していくか検討できる。また、各課の課題を把握することで、内部の連携が進む。

【楠委員】 検証シートをはじめ、総合計画には多くの職員が関わっている。組織全体で総合計画の策定や進行管理に携わることで、まちづくりの方向性等が浸透していくと思う。

3 閉会

【事務局】 (今後のスケジュール等について説明)

【久会長】 それでは、これをもって第1回生駒市総合計画審議会全体会を閉会する。

— 了 —